

実り多き SSH の秋 ~part1~

10/5 南部海岸実習

本校では地域の豊かな自然をテーマに令和 2 年度より 1 年理数科対象の南部地区野外実習を行っている。実習では沖縄本島南部地区の国定公園内（米須海岸周辺）海岸地域で地学分野及び生物分野（環境測定含む）の実習を行った。

生物分野 ①珊瑚礁海岸の植生・生態系について ②植物観察・磯の生物観察

③海水・湧水の（塩分濃度、COD・pH）測定実習

地学分野 ①地下ダムについて ②海岸の地形及び湧水の観察



【湧水の観察】



【パックテストでの水質測定】



【海岸植生の観察】

10/7～10/10 向陽 SSH 地球研研修 in 京都

科学的探究心の育成を更に深化させるため、国内有数の研究施設である大学共同利用機関法人人間文化研究機構の「総合地球環境学研究所」にて代表生徒 9 名で、水質分析実習を行ってきた。これは本校独自！のプログラムである。

2 年前の琉球大学理学部新城竜一教授、農学部安元純助教らの講演受講をきっかけに本校生徒と琉大との高大連携研究が始まり、令和 3 年度から「SSH 課題探究 I」で水質をテーマにした研究を継続している。その中で新城教授の研究所への出向に伴い本校もそこでの研究施設を利用した実習をさせて頂く事が可能となった。研修は水質調査やその分析を 3 日間ビッシリ行われ、生徒達は初めて見る実験室や大型機械、そして研究所の先生方からの講義に興味を持ったようだ。原理・分析について、そして地球環境全般についても興味が増し実り多いものとなった。この研修成果は来年 2 月に全生徒へ向けて報告を行う予定である。



【地球研副所長による講義】



【ICP-MS による水質分析】



【水質分析の前処理】

参加生徒達の声⇒「正しい結果を得ていく為の実験の仕方、様々な測定方法、また普段は見ることができない細かな実験室を目の当たりにして科学への興味が大いに広がりました。」

「自分達の実験が次の段階をどうするかで止まってしまった時に、水質の検査等を行い発表を聞いてもらって次の段階へのアイデアを頂けて良かったです。」